

タイトル	「社会的包摂の実現に向けた社会教育の在り方について」	執筆分担（案）
はじめに（前文）	○ 経緯等	議長
目次		
目	第1章 生涯学習・社会教育をめぐる状況	事務局
	(1) 国の状況（社会的包摂に関連した内容） (2) 新潟市の状況（社会的包摂に関連した内容） (3) 建議テーマ設定の理由 ※2グループに分かれた経緯も記述する	
	第2章 子どもや若者の参画を促すネットワークについて	「子どもや若者の参画を促すネットワーク」グループ
	(1) 背景 (2) 調査活動の概要 ①イロトリドリ ②オール ③札幌「Youth」 (3) 課題 (4) 提言	
目	第3章 共生社会の実現に向けた学びの在り方について	「共生社会の実現に向けた学びの在り方」グループ
	(1) 背景 (2) 調査活動の概要 ①新潟県・新潟市国際交流協会 ②新潟市障がい者基幹相談支援センター東 ③NSGソーシャルサポート ④新潟市の公民館の活用状況 (3) 課題 (4) 提言	
	第4章 まとめ	議長，副議長
おわりに	○ 今後に向けて	副議長
その他資料等	○ 調査の概略（視察レポート）	各委員
	○ 第35期新潟市社会教育委員会議 審議経過 ○ 第35期新潟市社会教育委員会議 委員名簿	事務局

※Wordで作成

A4横書き

40文字×42行

余白 上下15mm、左右30mm

フォント MS明朝

語尾「～だ。」「～した。」（です・ます×）

文字の大きさ

第1章 生涯学習・社会教育をめぐる状況（14pt）

第1節 新潟市の状況（12pt）

(1) 新潟市教育ビジョン第4期実施計画の策定（11pt）

新潟市では～【本文】（10.5pt）

※各グループごとに体裁を整えて事務局に提出